

鹿川

発行 鹿川村役場
1959.4.20 編集
鹿川村教育委員会

三月定例村議会

三月定例村議会を三月三十日招集、会期二日間で議案を審議原案通り決定した。

附議事件

- 1 昭和三十三年度一般、特別会計決算認定
- 2 昭和三十三年度一般、特別会計追加更正予算
- 3 報酬及び費用弁償額並びに支給方法に関する条例改正について
- 4 鹿川村消防団条例改正について
- 5 鹿川村投票管理者等の報酬支給条例改正について
- 6 鹿川村国保条例の全部改正について
- 7 昭和三十四年度一般、特別会計歳入歳出予算
- 8 鹿川村有墓地設置について
- 9 一時借入金について

村に畜産専門

技術員(獣医)を設置

村は、畜産指導を強化するため、四月から専門技術者(獣医)をおくことにした。これで、畜連、明治乳業の職員の限られた指導のため、不満足であった畜産面の指導も一応軌道にのり、患畜の診療等についても、共済獣医と合して欲求に応ぜられることになろう。

鹿の川家畜市場移築

この度、旧鹿ノ川市場敷地に



、農協の倉庫が建築されることとなり、市場の移築が必要となっておりましたが、この移築を機会に、川上地区の歴史ある市場としてふさわしく拡張移築したいと言いうことが、関係者の間で話し合われ、一般農家の要望も強く、村も流通対策上是非発展的移築をしたいとの考えで、関係方面と協議の結果、下鹿ノ川に移築することになり、近く第一期工事に着手する。

昭和三十四年

産茶製造について

今年も茶摘の時期がやって参りました。もう暖地は相当伸びていると存じ、次の通りで製造致しますから一葉も残さず摘んで出荷して下さい。

一、製造期間

一番茶 五月一日～五月底日まで
二番茶は七月中旬、三番茶は九月中旬の予定です

二、買入価格 三・七五K

(一ヶ当り)

五月一日～五月一日 一三〇円

五月一日～五月一日 一〇〇円

五月一日～五月一日 一〇〇円

五月一日～五月一日 一〇〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

五月一日～五月一日 九〇円

注意事項

一、メートル法実施に伴ない「K」の単位で受入致しませんが「K」の数量、氏名等を明記した荷札をつけて下さい。

二、売渡し、委託加工の別も荷札に明記して下さい。記入してない場合は買入れとして取扱います。委託の場合には製品を入れる袋を同時に送って下さい。

三、全国的に見て、若芽を摘んで良品の製造をする様な傾向にありますから出来得る限り早目に摘んで出荷して下さい。

四、製造その他について御不明の点は茶業組合(T二〇番用)に御連絡下さい。

本月の出来ごと

三月

一、瓜生谷 故陸兵長山下昌訓君葬儀執行

二、中津地区家族計画講習

三、中学校統合に関するPTA会長会、教育委員会

四、合同会を開く、鹿野川

五、漕艇協議会を開く

六、昭和三十三年度決算審

七、議会議決委員会を開く

八、中学校統合推進委員会を開く

九、村常会を開く、宇和川

十、予子林各中学校卒業式

十一、観光協会役員会開催

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

二十二、

二十三、

第三期青年建設班終了式挙行

二、三日 第三期青年建設班終了式挙行

老人会役員会を開く

本村戸籍事務の現地指導を受く、教育委員会を開く、大谷地区地域加入

電話の懇談会開催

二、五日 村内小学校、岩谷中学校卒業式挙行

議会議決委員会を開く

中学校統合推進委員会を開く、建設事業について

米田前建設次官に陳情を行う

二、八日 議会議決委員会 常任

委員長会を開く

三、〇日 定例村議会を開く

遺族会総会開催

三、一日 作曲家野中晴氏来村

自衛官入隊相談

四、月

一、日 教職員人事異動発令(村内六三名)

二、日 乳児検診(鹿野川)

三、日 乳児検診(正山)

四、日 教育委員会を開く

五、日 乳児検診(岩谷)

六、日 郡畜産課本課長、新任

七、日 松久大洲家畜保健所長来

八、日 村小中学校入学式挙行

九、日 乳児検診(大谷)

十、日 皇太子殿下御成婚の日

赤痢及び

食中毒について

ピクニック、団体旅行、其の他春の行楽等でオリ詰等を作る機会が多くなつて来ましたが、調理人の手指は清潔でしょうか。

今年も又其処、此処に赤痢の集団発生、食中毒患者が発生しております。

本村も新年になつてより赤痢患者二名、保菌者二名、猩紅熱一名、計五名の患者が発生致しております。お互に自分自身で次の事柄にこころがけ伝染病にかからないように致しましょう。

赤痢は口より入る伝染病である。患者や保菌者の糞便からの赤痢菌により、食物や飲料水が汚染され、それを食べたたり飲んだりした人が赤痢にかゝる。

又ハエが赤痢菌を体につけて飛びまわり拡げる。夏になると急に多くなる病気である。

注意事項

一、手を良く洗つて調理をし食事をする、用便の後は特にトイレに手を洗う。

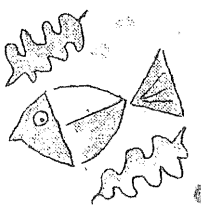
二、食べすぎ、飲みすぎないように注意する。

三、特に梅雨、夏の流行時には刺身、かき(貝)など生のものを食べない。

四、ハエの発生源をなくし、ハエを退治する。

五、下痢便の場合はチリ紙(家庭用)拾枚以上重ねて使用する。

選挙をい明る



森林組合便り

椎茸菌植付後の手入れについて

四月中の気温を過去十一年の平均最高気温は二五度一三〇度(日光の直射せぬところ)位である。今頃より櫓木内の菌糸は活発な活動を開始します。従つて日光の入らない薄暗く湿気の多いところは適当でありませぬ。庇陰度四〇%(日かげ四割程度)位なジメジメしてないところが伏せこみます。

杉林竹林などは枝打をし適当な日光の射入と通風を計る様にし、風が強く乾燥し勝なところでは笠木をかけるなり、風のあまり当らない場所へ置き換るなり積み方を考えたり或程度湿度を保つよう注意して下さい。

植付後二十日位して接種孔の蓋を小刀の先で取つて伸張状況を調べましょう。中が白くカビの様になつていれば、活着発育中である。黒くなつておれば、通風が悪くて死滅して居り、パラパラに乾いていれば乾燥しすぎですから死滅一步前です。この様な場合は改めて植え替えをし、場所をかえて伏せ込む様にして下さい。

二、県森連木材市売日の変更について
従来五日、二十日の二回市であつたが、利用者の増加により五日、十五日、二十五日の三回開く事になりました。

相場は別表の通り。

三、草刈り鎌の斡旋について
切れ味が良いとの定評でありますので、今年も岩佐の鎌を斡旋致します。御希望者は四月末日までに森林組合まで申し込んで下さい。

村の人口移動

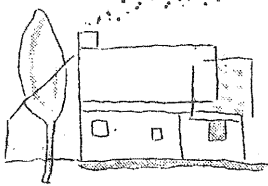
村	出生	死亡
山鳥坂	和氣輝一 和氣栄一	森岡カヨ
大谷	岩野節美 宮本慶子	松原利平
予子林	片山美智子 石山富恵	出川イシヨ
名荷谷	西田里美 亀岡千秋	寺岡カツヨ
中津	永田晃子	名荷谷セキヲ
中居谷		長川長吉
山鳥坂		片山美智子
大谷		上田明美
予子林		尾下弥平
名荷谷		二宮クニヨ
中津		富永良吉
中居谷		
人口	四・〇四四	
男	三・七五九	
女	七・八〇三	
世帯数	一・四七六	

県森連木材市売場相場

4月5日					
長さ	径寸	すき	ひのき	まつ	その他
14尺	60上			23・79	肱川土場の値とし 市売場に於ける中値を計上しました
	尺上			25・69	
13・2尺	15下	39・29	39・93		
	20上	36・06			
	30上	39・93	39・93		
	40上	30・50	34・76		
	60上	31・50	38・64		
	尺上	33・45			
10尺	25下	27・65	28・28		
	35下	28・92	30・48		
	50下	30・97	33・45		
	55上			21・50	
7尺	25下	15・97	16・62	パルプ	
	30上	14・02	14・02	17・60	
	60上	23・09	26・98	21・00	
6・6尺	尺上				
3尺	30上	11・44	12・73		
20尺	50上	38・64	41・23	28・02	

昭和三十四年度教職員名簿

職	氏名	年齢	職	氏名	年齢
校長	中野 隆寿	五〇	校長	大野 月義	四三
教頭	井上 将夫	四二	教頭	大野 倫直	三九
教員	高橋 将夫	四二	教員	阿部 カツ子	三七
教員	片山 タキ子	四九	教員	大野 寧子	三六
教員	河合 三郎	四五	教員	佐伯 高徳	二四
教員	河合 馨	三五	教員	信尾 徳幸	二六
教員	山本 信子	三一	教員	岩田 律子	二六
教員	山下 信子	三一	教員	吉岡 務	三五
教員	木村 幸雄	二九	教員	余家 喜一	三四
教員	宮部 博文	二五	教員	井上 吉信	四一
教員	高見 房子	二六	教員	黒田 憲治	三八
教員	山岡 俊輔	二四	教員	種坂 審一	四三
教員	渡辺 智子	二六	教員	脇坂 信一	五三
教員	渡辺 茅子	三三	教員	宇和川 信一	五三
事務職員	大谷 小学校		事務職員	大谷 中学校	
事務職員	岩田 律子	二六	事務職員	足利 暢子	二二
事務職員	岩田 徳幸	二六	事務職員	西村 広海	四五
事務職員	信尾 徳幸	二六	事務職員	大野 時明	三三
事務職員	岩田 律子	二六	事務職員	三瀬 正和	三三
事務職員	吉岡 務	三五	事務職員	繩田 進	三五
事務職員	余家 喜一	三四	事務職員	岩本 勝太郎	三三
事務職員	井上 吉信	四一	事務職員	古岡 智稔	二六
事務職員	黒田 憲治	三八	事務職員	田中 和子	二七
事務職員	種坂 審一	四三	事務職員	宮武 欣也	三九
事務職員	脇坂 信一	五三	事務職員	藤淵 文雄	四六
事務職員	宇和川 信一	五三	事務職員	石田 円明	三三
事務職員	大野 月義	四三	事務職員	好光 修三	二五
事務職員	大野 倫直	三九	事務職員	城ノ戸 恵子	二五
事務職員	阿部 カツ子	三七	事務職員	井上 高明	二七
事務職員	大野 寧子	三六	事務職員	水内 時茂	五二
事務職員	佐伯 高徳	二四	事務職員	堀内 短昭	三六
事務職員	信尾 徳幸	二六	事務職員	稲積 徹	三〇
事務職員	岩田 律子	二六	事務職員	土井 豊城	三一
事務職員	吉岡 務	三五	事務職員	中川 公清	二九
事務職員	余家 喜一	三四	事務職員	松本 清	二三
事務職員	井上 吉信	四一	事務職員	目崎 寿鶴子	三八
事務職員	黒田 憲治	三八			
事務職員	種坂 審一	四三			
事務職員	脇坂 信一	五三			
事務職員	宇和川 信一	五三			



昭和34年度一般会計歳入歳出予算

Table with columns: 歳入 (Income), 本年度 (This Year), 前年度 (Previous Year), 比較 (Comparison), 本年度予算割合 (This Year Budget Ratio %). Rows include 地方交付税 (Local Allocation Tax), 公営企業財産収入 (Public Enterprise Property Income), etc.

Table with columns: 歳出 (Expenditure), 本年度 (This Year), 前年度 (Previous Year), 比較 (Comparison), 本年度予算割合 (This Year Budget Ratio %). Rows include 議役費 (Assembly Fees), 会費 (Fees), 消防費 (Fire Protection Fees), etc.

大洲有線放送電話施設を視察して

私たち青年建設班終了者で組織してある大洲青年建設協議会員二十一名は、皇太子御成婚の十日サイクリングを兼ねて、大洲市久米の有線放送電話施設を視察したのでその模様を報告してみたい。

大洲市有線放送電話協会の区域は、西大洲、高山一円戸数約三〇〇戸、平地、山間地半々の地形で、大洲城の西方にある久米農協の二階に本部がある。

私達は二十一台の自転車を連れ、十時半久米着、大洲食糧事務所へお勤めの井上氏(久米出身)の案内で、先ず本部の放送施設を見学する。そこへは協会

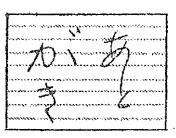
による中継放送を聞き乍ら、理事さん達と座談会をし、本施設完成までの苦心談を聞いた。当部の思いつきは普通の拡声放送施設で、之により部落内の弘報連絡を密にし、社会教育公民館活動の推進を図ろうと度々協議を重ねた。しかし、一般は乗気薄の状態であった。その頃高松市外川辺町で四国で最初の電話付有線放送の概要が読売新聞に発表され、これを見て、是こそ最も進んだ有益な施設であると相談が一致した。丁度農繁期でわずか三名での視察であったが、その結果は言うまでもなく、是非やろうと言ふことになった。しかし少数の同志の意見の一致だけでは仲々話が進まず、思いつきから施設完了まで何と

三年越の日時を要した。この施設は、実施主体が公民館で、何らの経済的背景を持たない点で非常に困難が多い。部落の有力者にもみ漬されそうなることも度々あった。又、話は非常に良いが、後になつて幾ら負担せねばならんか分らんとか、百姓に電話なんかいらぬ、今までも無しで済んでいるとか、日和見をする人、又は他の人の加入を妨害する人等問題は多かつたが、度重なる啓蒙によつてようやく気運が盛り上り、市及び農協も理解ある態度を示して戴き、それに勢を得てようやく昨年三月四日着工、四月二十日に施設が完了し、今では二名のアナウンサー兼交換手一名の職員を置き、公民館社会教育と言つた点に最も力を注いで活動されている。例えば、昨年獣骨発掘のため来村された鹿間博士の講演や、県知事の講演等に於いても、本村ではわずかに百名足らずの人しか聞いていないのに比べ、久米に於いては二五〇戸全戸に対し録音によつて放送して聞いている訳です。又、一般の弘報活動や、問合せ連絡等は予想以上の大きな効果をあげ、その上の施設を通じて無形の大きな収穫をあげている。それは、団結の力でやれば何でもやれると言ふ自信を得たことや、公明選挙に地域社会の活動に如実に現われている。又、日曜日の夜は、各部落で録音した娯楽番組を放送しているが、各部落間に明るい空気を作るのが非常に役立っている。録音希望も今では殺到している。

方加入者も当部申込一五〇戸から現在二四五戸に増え、全戸加入をめぐらしている。又区域外ではあるが、市役所、農協その他市内の主なタクシー商店等も加入し、生活の上にも大変便利をするようになってきている。この施設経費は特別に安くあがつているので、そのまゝ本村の参考にならないが、当初申込者一戸当り二三〇〇円と二人役の歩程度負担で後からの新規加入者は三三〇〇円に距離により加算金をとつていいる。工事を工事技術者の指導で直営で行つたお陰で、故障修理等は、各部落の技術修得者で充分やれ、柱(支線は径十センチ位)の取替は部落でやることゝなつていいるので、現在一戸当り月百円の維持負担金で交換手の給料まで全部賄つていいる。

作り上げるまでの困難など今では昔の笑い話となり、年寄連中からも大変喜ばれていいるなど、理事さん達も本当に苦労の甲斐があつたと明るい表情で話した。当日は特別に昼休みの時間を利用して、次日曜日の夜の娯楽番組の録音をくり替放送してもらつたが、市会議員さんからも若い青年まで本当になごやかなふん開気で番組を消化し、日曜の夜は部落全員が楽しみにして聞いているとの話に、非常にほのほのとした空気がスピーカーから流れて来る様な感じで、私達が村内各地から集り、ともども生活を通じて得た団結と融和が如何に尊く意義深いものであるかをしめし感じました。

終りに、大洲市有線放送電話協会の放送番組を紹介します。五・〇〇一 五・〇〇五 放送開始NHKニュース 五・二〇一 五・五〇 早起鳥 六・〇〇一 六・一五 農事弘報板 六・三〇一 七・〇〇 農業講座 一〇・〇〇一 一〇・三〇 ニュース 一二・〇〇一 一二・一五 ニュース 一五・〇〇一 一五・三〇 ニュース 一七・〇〇一 一七・一五 ニュース 二〇・〇〇一 二〇・三〇 特別放送講座



桜が散りはてて菜の花ざかりではあるが、春のベールは次第にうすれ、初夏が粧いを急いでい

る。そうした中で何となくあわだしいのは選挙のせいばかりだろうか。県会議員、村会議員と直接選挙民に関係も関心も深い選挙が行われ、ずい分激戦の中からも我々の代表者が選ばれるが、激戦につきものの不明朗な選挙がないよう期待する。良い選挙が行われ、良い人々が選ばれることを、そして、五月の空のように晴やかな、初夏の風のようにさわやかな政治が行われることを祈るよ